

## [第3回] 学校運営協議会

と き／令和2年2月3日（月） 19:00～21:00

ところ／南が丘小学校図書室

### 報告事項

#### (1) 学校経営方針「8つの柱」の取組状況について

南が丘小学校では学校教育目標の実現をめざして、特に重点を置く課題を8点設けて取組を進めている。年度末状況について学校長より報告され、その後、質疑を交わした。

#### ○英語科教育

中学校に進学した際、英語が苦手だと感じる生徒がいるようである。中学校とは、連携ができているのか。

→ 小学校では、6年間同じ流れで授業を行っている。中には、英語が苦手な児童もいるが、授業の流れが見えていることで安心して授業を受けることができる。そのため、多くの児童は英語を楽しんでいると感じている。しかし、中学校では学習内容が多くなり、難しくなるので、苦手だと感じる生徒が多くなると考えられる。今後さらに、小中一貫教育の英語部会で小中の連携について話題にしていく。



### 協議事項

#### (1) 学校自己評価（二学期取組の結果と三学期の途中経過）に基づく、学校運営協議会の評価について

昨年度から学校自己評価は、学校の教育活動の成果によって、子どもたちがどのように変容したのかという「子どもの姿」を評価の対象とすように見直された。第2回学校運営協議会において、児童の質問紙および教員の評価方法についていただいた意見を反映させ、二学期は評価を行った。その評価結果と三学期の途中経過が担当者から説明され、委員で協議した。

#### 二学期

##### <評価結果>

- ・教員の観察による評価結果では、Ⅰ①「進んで学習に取り組む子」、Ⅰ②「聴き合い伝え合える子」、Ⅱ①「進んであいさつをする子」、Ⅲ①「きまりを守る子」、Ⅲ②「ものを大切にしている子」の5項目について向上が見られた。

- ・児童質問紙調査の結果では、6つの項目のうち3項目について、「よくできた」と答えた児童の割合が減少した。これは、児童がより自分の姿を客観的に捉えられるように、調査項目を細分化した結果であり、正確性が増したものと考えられる。

### 三学期

- ・二学期取組結果を踏まえて、新たな取組内容を加え、引き続き全校で取組を進めている。

○委員から出された主な意見は、次のとおりであり、次年度に向け、いただいた意見を参考に、さらに検討しながら進めることを確認した。

- ・めざす子どもの姿は具体的なものが多いが、「気持ちを考え行動できる子」のみ抽象的である。
- ・評価シートの④達成状況の項目の中の評価の記述内容に、分析・考察を行っているものがある。シートの項目の表記を見直してはどうか。
- ・評価結果が、教師分は学年ごとに見ているのに対し、児童分は全校まとめてとなっている。教師と児童を比較するには、児童分も学年ごとに点数で表した方がよい。
- ・「ものを大切にする子」のみ、教師による評価方法と子どもたち同士での評価となっている。評価方法はアンケートとし、そこから分析をしていく方がよいのではないか。
- ・「進んであいさつをする子」と「気持ちを考え行動できる子」が高学年になるほど評価が低くなるのが気になる。評価基準が難しくなることや、学年が上がるので、教師の評価が厳しくなっているのではないかと考える。
- ・「子どもの評価結果と教師から見た子どもの姿に乖離がある」という記述がある。教師の観察の評価も大事ではあるが、一部の児童の行動を全体の評価とすることはどうだろうか。評価結果は、客観的なデータをもとにすべきである。評価方法の一つに、「教師の聞き取り」を入れるのであれば、「教師と児童のアンケート結果に乖離がある」という記述にすればよい。
- ・ものを大切にする子の取り組み内容が3学期間同じである。2学期の達成状況を踏まえ、3学期の取り組みを設定していくべきではないか。
- ・「気持ちを考え行動できる子を育てるために様々な活動に取り組む」とある。子どもたちは、活動の中でいろいろな姿を見せる。子どもたちには、それぞれの友だちのよさに、その活動の中で気づいていってほしい。
- ・評価結果より、子どもはできていると考えているが、教師はできていないと考えている項目がある。教師が子どもに、できていないと伝える場が必要ではないか。
- ・達成状況の評価の項目に「課題が多い」とある。どのような課題があるのか、具体的な記述が必要ではないか。
- ・2学期の課題に、「時間をまもれるようにはなってきたが、放送を頼りにしている姿がある」とあるが、これに対する取り組みがない。放送を頼りにしていても、それで動くことができればよいのではないか。
- ・持ち物の管理が苦手な児童が多いようである。PTAと連携して、保護者に啓発をして

かどうか。

## (2) 令和2年度南が丘小学校学校運営協議会の編成について

来年度の委員数、選出母体とする組織について協議し、以下のとおりを学校長に要望することが確認された。

小学校 PTA	1名	社会福祉協議会	1名
中学校 PTA	1名	民生児童委員協議会	1名
学校支援委員会	1名	青少年健全育成委員会	1名
放課後児童クラブ	1名	体育振興会	1名
自治会連合会	1名	校長推薦	1名
学識経験者	2名		

計 12名

## ■連絡事項

### (1) 今後の予定について

### (2) 学校長より

- ・今年度から年度末報告は、ホームページに文書を載せる形での報告に変えていく。
- ・現在4月下旬の学校運営協議会で学校経営方針を承認していただいているが、今後、津市全体で学校運営協議会の設置が進んでいく中で、第3回学校運営協議会において承認していただくということが考えられていることをお知らせしておきたい。

以上